

平成 16 年 12 月 20 日

武庫川流域委員会
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会
委員 伊藤益義

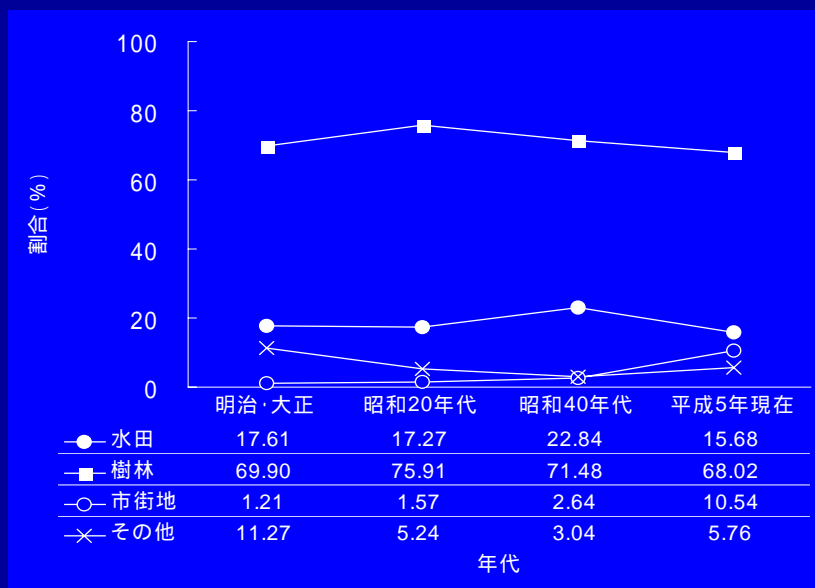
提 案 書

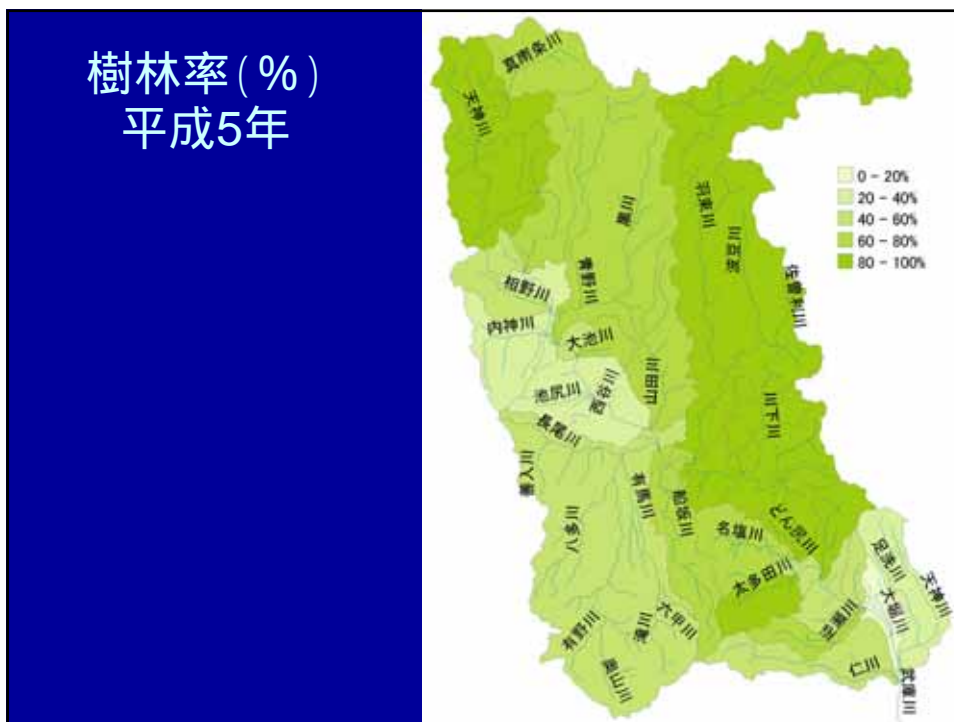
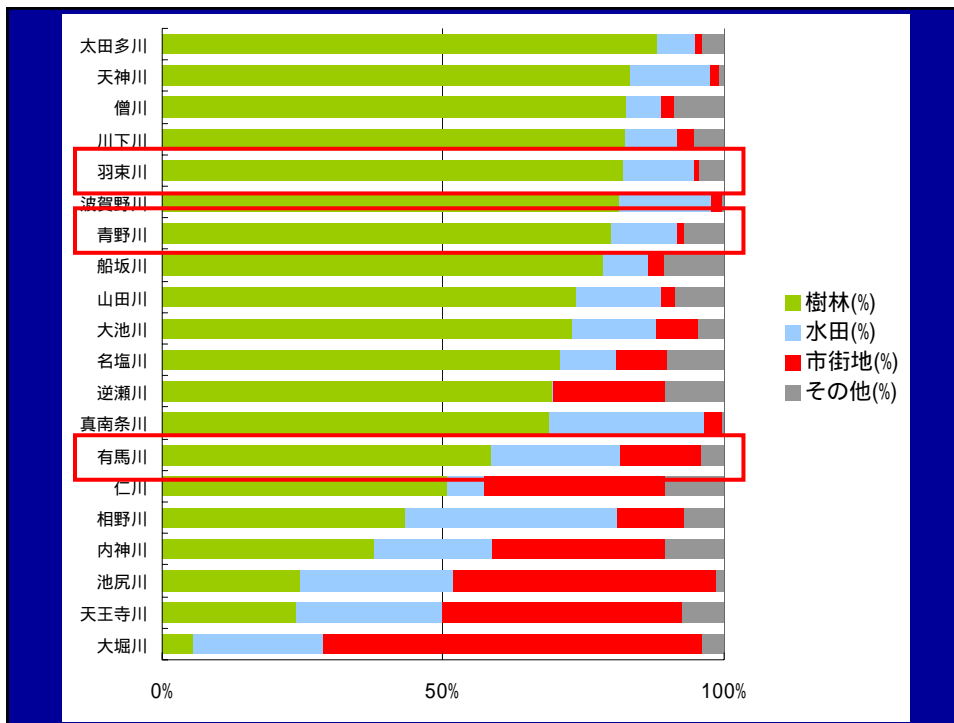
武庫川の治水には武庫川の特性を知る必要があります。
特に流域全体ではなく支流別の特性を十分に理解していただきたいと思います。
エコグループ・武庫川で調査した結果を一部ですが支流別に分析してみましたので委員会で説明させていただきますようお願いします。パワーポイントデータを添付しますのでよろしくお願いします。
以上

武庫川流域の土地利用の変遷 支流別変化の状況

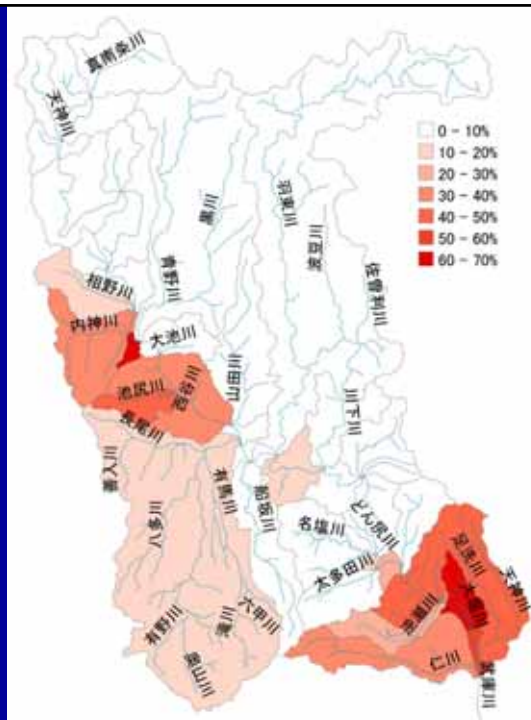
伊藤益義

武庫川流域全体の土地利用の変遷

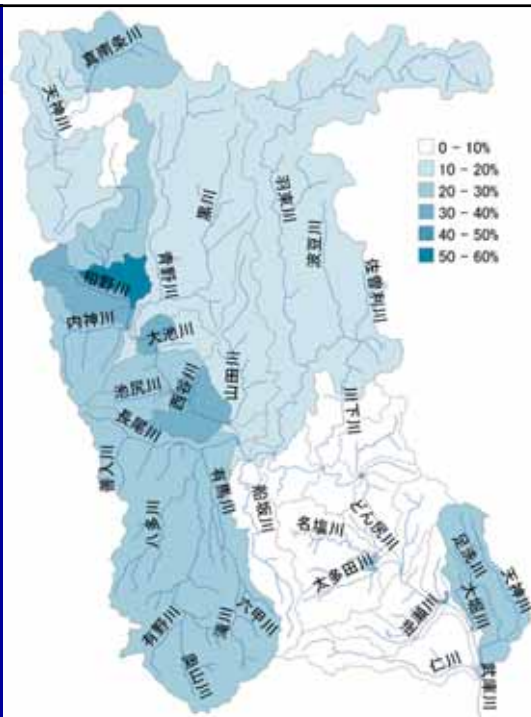


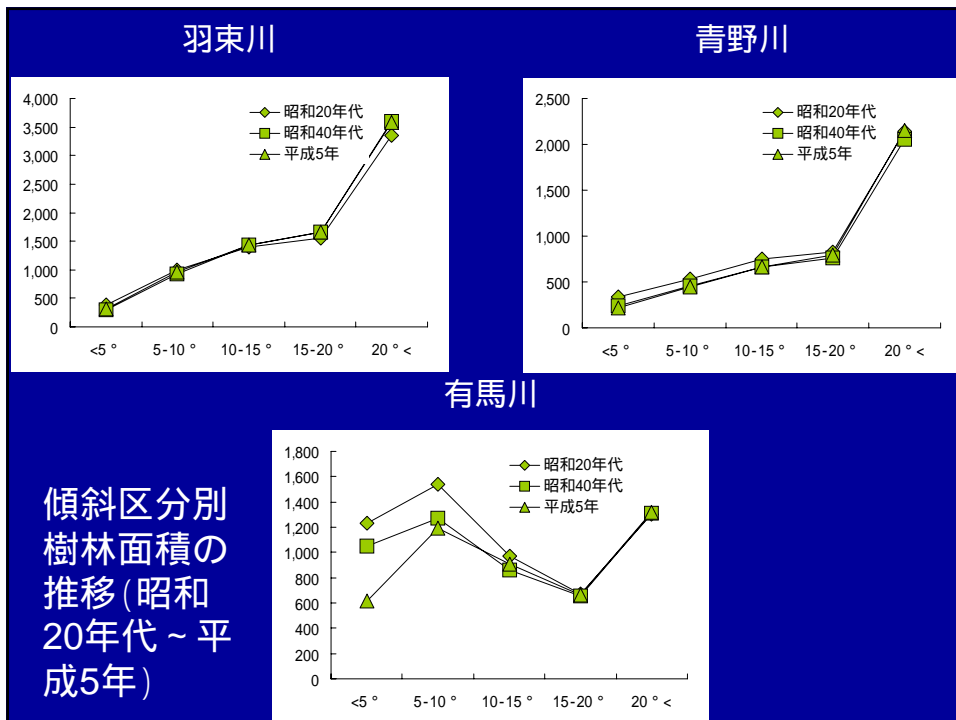
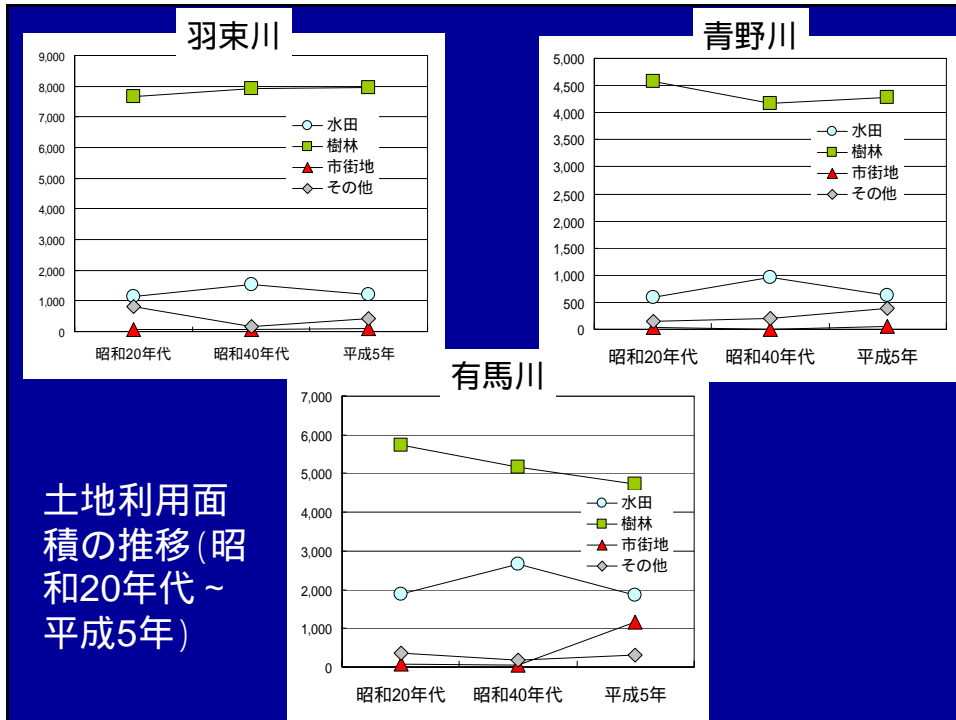


市街地率 (%)
平成5年

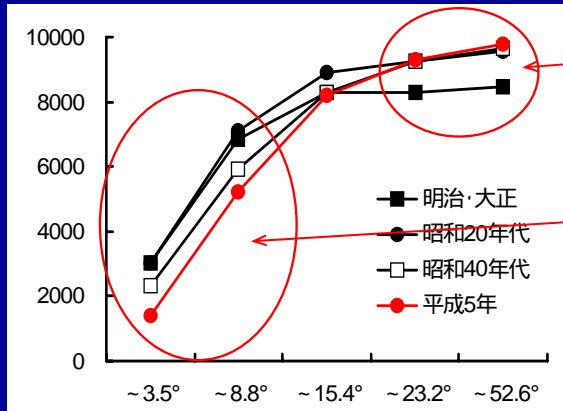


水田率 (%)
平成5年





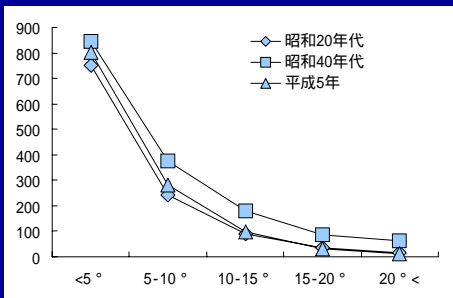
	~ 3.5°	~ 8.8°	~ 15.4°	~ 23.2°	~ 52.6°	合計
明治・大正	3,035	6,827	8,298	8,300	8,443	34,905
昭和20年代	3,047	7,098	8,891	9,255	9,574	37,865
昭和40年代	2,324	5,935	8,311	9,233	9,629	35,432
平成5年	1,382	5,212	8,213	9,301	9,788	33,896



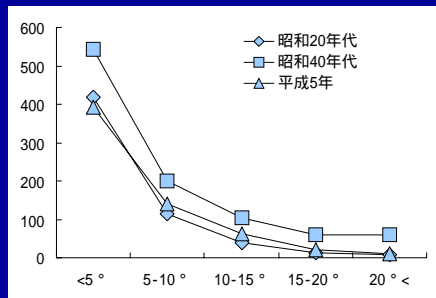
傾斜角20°以上の傾斜地で樹林が増加

傾斜角8.8°以下の平地で樹林面積が減少

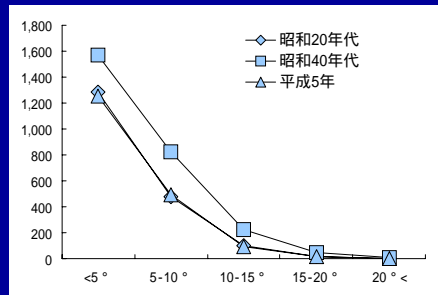
羽束川



青野川

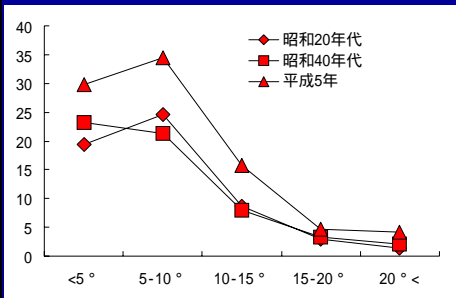


有馬川

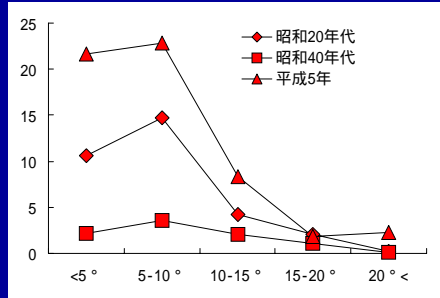


傾斜区分別水田面積の推移(昭和20年代~平成5年)

羽束川



青野川



有馬川

傾斜区別
市街地面積
の推移(昭和
20年代~平
成5年)

